

日本語二字漢字語彙とそれに対応する中国語二字漢字語彙は同じか —台湾及び中国の中国語との比較—

陳 毓敏

要 旨

中国語では簡体字を使用する中国大陸の中国語と、繁体字を使用する台湾、香港、東南アジアの中国語に分けることができる。字体が異なるだけでなく、意味が異なるものもある。日本語を学習する中国語母語話者が日本語の漢字、漢語を学習する際に起きる転移を言及する前に様々な中国語の辞書的な意味の差異を明らかにする必要がある。

本稿では、日本語の二字漢字語彙とそれに対応する台湾と中国の二字漢字語彙の辞書的な意味をそれぞれ調査し、分類した。その結果、日本語とそれに対応する台湾と中国の二字漢字語彙の辞書的な意味は必ずしも一致しないことが明らかになった。従って教育現場に対して、同じ漢字圏の日本語学習者は同じ漢語を見て同じ意味を考えると限らないことが示唆された。

【キーワード】 二字漢字語彙、辞書的な意味、誤用、実態、漢字圏

1. はじめに

日本語の語種には和語、漢語、外来語、混種語という4種類がある。国立国語研究所(1962~1964)の調査によると、雑誌90種の異なり語数は漢語が47%を占め、首位になっている。また、Yokosawa & Umeda(1988)によると、日本語辞書の見出し語の約70%は漢字二字で構成されている。日本語を学習するとき漢語は必ず学習しなければならない項目である。日本語を学習する中国語母語話者は、中国語の知識に頼り日本語の漢字、漢語を推測することができる。しかしながら、日本語と中国語の意味は共通するものもあれば、一部重複、また完全に異なるものもある。例えば「汽車、新聞」のような漢語は中国語の意味では、「自動車、ニュース」となる。従って中国語母語話者は日本語の漢字、漢語を学習する際中国語の知識の影響を受ける。中国語と意味が共通する語の場合は正の転移が起こるが、中国語と意味が異なる場合は、負の転移が

起き、混乱が生じる。先行研究ではほとんどが中国大陸の中国語を扱っている。しかし、台湾、香港、シンガポールなどで使用されている中国語に焦点を当てたものは非常に少ない。

2. 先行研究の問題点

中国語の転移を避けるために、様々な研究を行われてきた。例えば日中対照研究に力を入れているのは文化庁(1978)、守屋(1979)、金他(1987)、黄(1994)、彭(1998)などがある。誤用分析では、武部(1967)、菱沼(1980)、荒川(1988)、三喜田(2000)、林(2002)などである。しかし、今までの研究には大きな問題が存在している。まず、中国語は1つではない。一般的に簡体字を使用する中国大陸の中国語と、繁体字を使用する台湾、香港及び東南アジアの中国語に分けることができる。しかし、字体が異なるだけでなく、意味が異なるものもある。例えば、「愛人」という漢語で、中国大陸は、「配偶者」という意味であるが、台湾では、「不倫関係の相手」という意味になる。そして、研究方法上の問題点として、例えば文化庁(1978)⁽¹⁾は日中語彙の対照調査を行い、4パターンに分類しているが、研究で扱う中国語は台湾、香港、東南アジアの中国語であり、意味の記述は、中国大陸で新しい語彙や意味を反映する『現代中日辞典』と『現代日中辞典』を参照している。(荒川,1979)。こういった問題点から日本語の漢語を学習する中国語話者がこのような対照研究をもとにした参考書に違和感を感じるだろう。

本稿では、日本語の二字漢字語彙⁽²⁾(以下は二字漢語と略す)とそれに対応する中国語は、台湾と中国の中国語を対象にし、その語彙の辞書的意味の実態を明らかにする。さらに、その調査結果に基づいて中国語母語話者の日本語の漢字、漢語学習に提言を試みる。

3. 研究目的及び研究課題

本研究の目的は台湾と中国大陸の中国語の辞書的意味の実態を明らかにすることである。研究課題は、以下の2点である。

- 1)日本語と台湾の中国語で、対応する二字漢語の辞書的意味の実態を調べる。
- 2)日本語と中国大陸の中国語で、対応する二字漢語の辞書的意味の実態を調べる。

4. 研究方法

4-1 調査対象

以下の4冊より異なり二字漢語4,600語を抽出した。

- ①『中国語と対応する漢語』 文化庁(1978)
- ②『日本語教育基本語彙七種対照表』 国立国語研究所 (1982)
- ③『日本語教育のための基本語彙調査』 国立国語研究所 (1984)
- ④『日本語能力試験出題基準』 国際交流基金 (1994)

4-2 使用辞書

『中国語と対応する漢語』と『中日漢語対比辞典』を参照しながら、さらに客観性を高めるために、原則として日本語は『広辞苑』第5版(岩波書店)を使用し、中国大陸の中国語では中国で作られている『現代漢語詞典』第3版(商務印書館)を使用する。台湾の中国語では台湾で作られている『国語辞海』(光田出版社)を使用することにした。また、参考として日本で編集されている中日辞典、日中辞典なども使用する。

4-3 分析方法

文化庁(1978)の4分類を使用し、名称は日本語の訳名を使用した。

「同義」: 日台、日中における意味が同じか、または極めて近いもの。

「部分重複」: 日台、日中における意味が一部重なっているが、両者の間にずれのあるもの。

「異義」: 日台、日中における意味が著しく異なるもの。

「欠落」: 日本語と同じ漢語が中国或いは台湾に存在しないもの。

4-4 分析手順

分析手順として主に現地の辞書(『広辞苑』、『現代漢語詞典』、『国語辞海』)に記載される意味を中心に分析した。

次に例を示す。

例(1)「曖昧」

日本: はっきりしないこと。まぎらわしく、確かでないこと。(『広辞苑』)

台湾: ①行為秘密而不正當,有不可告人的事。(訳: あいまいだ。あやしい。不正な関係を持つ。)

②意思隱約不明的樣子。(訳: はっきりしないこと。) (『國語辭海』)

中国: ①(態度、用意)含糊;不明白。(訳: はっきりしないこと。)

② (行為) 不光明 ; 不可告人。(訳 : あいまいだ。あやしい。)(『現代漢語詞典』)

以上のように日台、日中ともに「はっきりしないこと」という意味が共通するため、分類は「部分重複」となっている。

例(2)「段階」

日本 : ①だんばしご。きざはし。階段。

②順序。等級。

③物事の進展過程の区切。局面。(『広辞苑』)

台湾 : 等級。(『國語辭海』)

中国 : ×

以上のように日台は「等級」という意味が共通するため、分類は「部分重複」となっている。中国では存在しないため、分類は「欠落」となっている。

5. 調査結果

今回の調査結果は異なり二字漢語 4,600 語を抽出したが、その中の 247 語が中国或は台湾の辞書に載っておらず確認できないため、調査対象から除外した。総異なり語彙数 4,353 語となっている。

また、日本語と中国大陸の中国語で、対応する二字漢語の辞書的意味は、文化庁(1978)と張淑榮(1987)⁹⁾によって大部分が既に分類されているので、分類が一致する部分はそのまま使用するが、分類が一致しない、及び分類されていない語彙のみを分類した。

5-1 日台、日中の二字漢語の辞書的意味の調査結果

日本と台湾、日本と中国のそれぞれの「同義」、「部分重複」、「異義」、「欠落」を占める割合は表 1 の通りである。語数を図 1 に示す。

表 1 日台、日中の二字漢語の辞書的意味の全体的な割合

	同義	部分重複	異義	欠落	合計
日台	54.5%	14.9%	4.1%	26.5%	100%
日中	55.1%	13.3%	3.5%	28.1%	100%

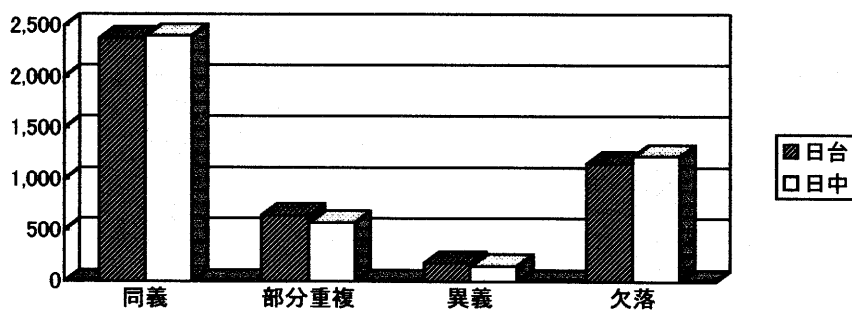


図1 語数を示すグラフ

5-2 調査の結果による考察

5-2-1 日台、日中の「同義」

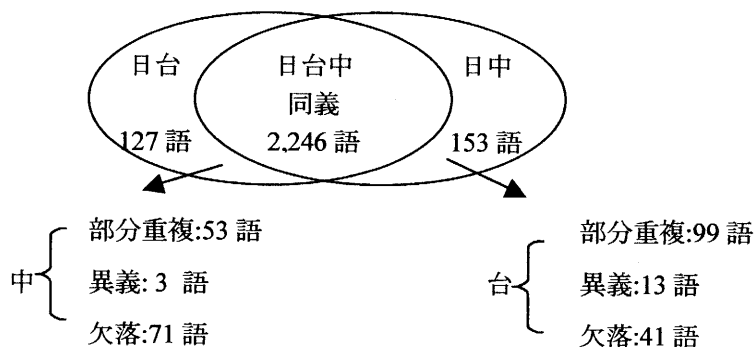


図2 日台中「同義」の語数分布

図2が示すように、日台中で辞書の意味が共通する語彙は2,246語がある。日台は「同義」であるが、日中は「同義」ではない語彙は127語ある。その127語の内、53語は「部分重複」に、3語は「異義」に、71語は「欠落」になる。逆に日中では「同義」であるが日台では「同義」ではない語彙も153語あり、「部分重複」に分類する語は99語、「異義」は13語、「欠落」は41語である。

また、以下に語例を挙げるが、重複を避けるため日台のみ共通する語127語を代表として挙げる。語例の記述において、“△”は日本と辞書の意味が共通することを指す。

“×”日本と同じ辞書の意味では使用されていないことを表す。“『國』”は『國語辭海』、“『漢』”は『現代漢語詞典』、“『中日』”は『中日大辭典』である。

■日台「同義」、日中「部分重複」

語例「芸術」

<台湾>

△①與自然及科学相對而言。凡為人智巧所成一切的製作,有審美上的價值者。如樂、詞賦、彫刻、建築、繪畫、舞蹈、戲劇、電影等皆是。(訳:一定の材料、技術、様子を駆使して、美の価値を創造、表現としようとする人間の活動及びその所産。)

△②藝能技術(技術) 『國』

<中国>

△①文学、美術、音等的称。(訳:文学、美術、音楽などの総称)

②富有造性的方式、方法。(訳:独創性に富んだ方法。) 例文:领导艺术。(訳:指導の腕前)

③独特而美观的。(訳:形が変わっていて美しい) 例文:这棵松树的样子挺艺术。(訳:この松は枝ぶりがとても奇抜だ。) 『漢』

■日台「同義」、日中「異義」

語例「時計」

<台湾>

△計時的儀器,如鐘。(訳:時刻を示し、または時間を測定する機械。) 『國』

<中国>

経線儀。(〈天〉クロノメーター) 『中日』

■日台「同義」、日中「欠落」

語例「風邪」

<台湾>

△中醫稱濕熱,風寒的侵入而生的病。(訳:寒気がし、むやみに鼻水、くしゃみ、が出たり、のどが痛くなったりする症状。) 『國』

<中国> ×

5-2-2 日台、日中の「部分重複」

図3が示すように、日台、日中ともに「部分重複」となっている語彙は506語である。日台が「部分重複」のとき、日中で「部分重複」ではないものが140語あり、そ

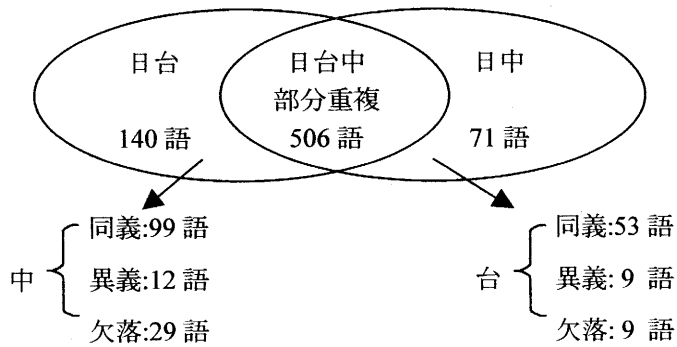


図3 日台中「部分重複」の語数分布

の内99語は「同義」に、12語は「異義」に、29語は「欠落」になる。日中が「部分重複」のとき、日台で「部分重複」ではないのが71語あり、53語は「同義」に、9語は「異義」に、9語は「欠落」になる。

語例は以下の通りである。

■日台「部分重複」、日中「同義」

語例「現実」

<台湾>

△①存在我們眼前的事實及狀況。(訳：現に事実としてあること。)

②説人勢力短視,只顧眼前。(訳：目の前の利益しか見えない。)

『國』

<中国>

△①現実。例：现实主义。

△②現実に即している。現実的である。例文：这是一个比较现实的办法。

(訳：これはわりに現実に、即したやり方。)

『中日』

■日台「部分重複」、日中「異義」

語例「顔色」

<台湾>

①紅、黄、藍、黒等各色。(訳：赤、黄、青、黒などの色)

△②人的面容氣色。(訳：顔色)

③丰彩。光輝。(訳：風貌、物腰、態度。)

④厲害的手段(訳：きついやり口。)

『國』

<中国>

①色。(訳:色。)

②利害的颜色或行动。(訳:きつい顔。けわしい目付き。) 例文:给他一点颜色

看看。(訳:目に物を見せる。)

『漢』

■日台「部分重複」、日中「欠落」

語例「親子」

<台湾>

△①父母和子女。(訳:親と子)

②親生的兒女。(訳:実の息子また娘。)

『國』

<中国> ×

5-2-3 日台、日中の「異義」

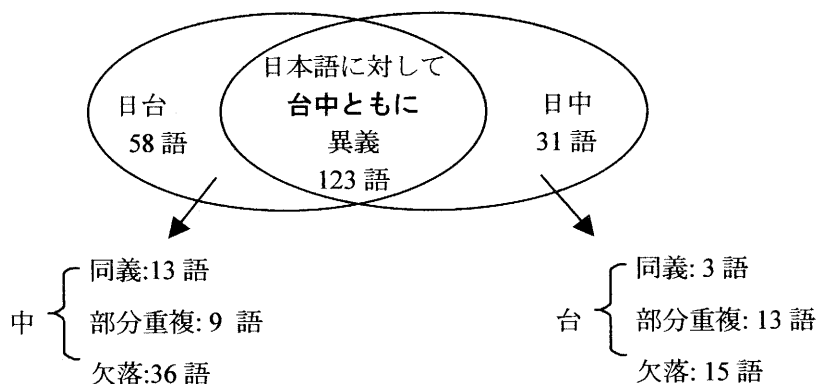


図4 日台中「異義」の語数分布

図4が示すように、日台、日中で辞書の意味が共通する「異義」は123語である。日台が「異義」のとき、日中で「異義」ではない語彙が58語あり、それを分類すると、13語は「同義」に、9語は「部分重複」に、36語は「欠落」になる。また日中で「異義」の時、日台で「異義」ではない語彙は31語で、分類をしてみると3語「同義」に、13語は「部分重複」に、15語は「欠落」になる。

次に語例を示す。

■日台「異義」、日中「同義」

語例「悪戯」

<台湾>

惡劣遊戲,不正當的遊戲,如賭博。(訳:よくない遊び、例えば:ギャンブル。)

『國』

<中国>

△惡作劇。(訳:惡戯)

『中日』

■日台「異義」、日中「部分重複」

語例「心地」

<台湾>

①心資。(訳:生れつきの性質。)

②心術或存心。(訳:心根) 例文:心地良善。(訳:心根がいい。)

③頭腦。(あたま) 例文:心地糊塗。(訳:頭ははっきりしない。)

『國』

<中国>

①指人的用心。(訳:心根、気立て。) 例文:心地坦白。(訳:心根がまっすぐである。)

△②心情、心境。(訳:心境、気持ち。) 例文:心地轻松。(訳:気ははればれする。)

『漢』

■日台「異義」、日中「欠落」

語例「気分」

<台湾>

①氣概。(訳:氣概)

②韻味。(訳:味わい、情趣。)

③體質。(訳:体質)

『國』

<中国> ×

5-2-4 日台、日中の「欠落」

図5の通り、台湾、中国ともに存在しない語彙は1,088語である。日台で「欠落」は65語であるが、これは日本と中国にのみ存在する語である。分類では、「同義」は41語、「部分重複」は9語で、「異義」は15語である。一方、日中の「欠落」は、136語である。これは日台のみに存在する語であり、分類は「同義」71語、「部分重複」29語、「異義」36語である。

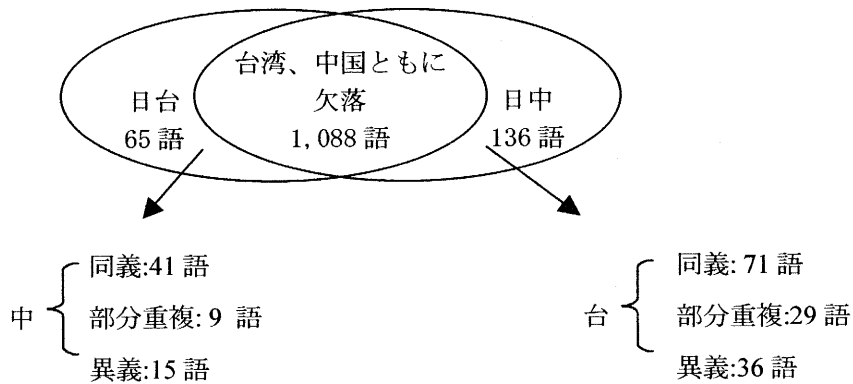


図5 日台中「脱落」の語数分布

語例を以下のように示す。

■日台「欠落」、日中「同義」

語例「区間」

<台湾> ×

<中国> △区間。

『中日』

■日台「欠落」、日中「部分重複」

語例「脱出」

<台湾> ×

<中国> △①脱出する。

②手放す。例文：那本書他很珍愛,絕對不肯脱出手的。(訳：あの本は彼がたいへん好きなので、絶対に手放さない。)

『中日』

■日台「欠落」、日中「異義」

語例「手柄」

<台湾> ×

<中国> <机>とって、ハンドル。

『中日』

6. 結論

日台、日中の二字漢語の辞書的意味の調査結果より、以下のような結論に達した。

(1) 日台、日中どちらにおいても意味が一致しないものが半数ぐらい占めている。

日台、日中の二字漢語の辞書的意味の全体的な割合を見ると、日台、日中ともに「同義」が一番多く約半数を占めている。次に多いのは「脱落」である。「異義」が一番少ない。従って、日台、日中両方ともに二字漢語は約半数は共通しているが、一方で、日台、日中の二字漢語の意味がどちらも一致しないものも半数を占めている。

(2) 台湾、中国の漢語は必ずしも一致しない。

上記のグラフ1から、日台、日中の二字漢語の辞書的意味は一致していないことがわかる。今回調査した4,353語で日中共通する語（「同義」）及び、中国に存在しない語（「脱落」）は日台より多い。また、意味が一部重なっている語（「部分重複」）及び、まったく異なる（「異義」）は日台より少ない。

そのうえ、各「同義」、「部分重複」、「異義」、「脱落」の語数分布及び語例から台湾、中国の二字漢語は必ずしも一致しないことがわかる。例えば図6「時計」のような語の日、台、中の関係を見てみると、日台で辞書的意味が共通するが、中国ではクロノメーターという意味となるので異なっている。そのような漢語が存在しているゆえ、台湾、中国の漢語は必ずしも一致しない。

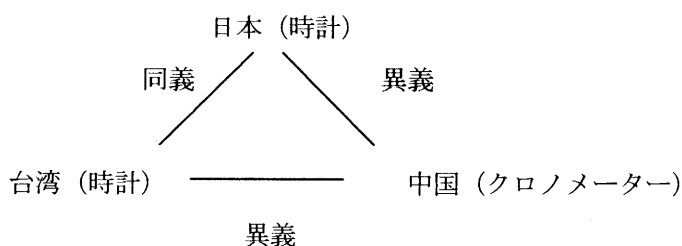


図6「時計」という語の日、台、中関係

(3) 漢字圏における二字漢語の意味が1つのものとして考えることは難しい。

本研究は台湾と中国の二字漢語のみを取り上げて調査したが、例えばシンガポール、香港などでも漢字、漢語は使用されている。また、意味のみ残されている韓国においても、このような意味の違いは恐らく存在しているだろう。それゆえ同じ漢字圏と言っても二字漢語の意味を1つのものとして考えることは難しいと思われる。

7. 教育現場への示唆

以上、調査の結果及び考察は、教育の現場に対して、同じ漢字圏の日本語学習者であっても同じ漢語を見て同じ意味を考えるととは限らないということを示唆している。漢字圏の学習者は同じ漢語を見るとき、母語の知識の影響を受け、違う意味を考える可能性がある。従って、漢字圏の日本語学習者に対して、日本語の漢語を指導する際、より工夫する必要があると思われる。

8. まとめ及び今後の課題

本研究は今まで1つとされてきた中国語の二字漢語の辞書的意味の実態を調査した。その結果、台湾、中国の二字漢語の辞書的意味が必ずしも一致しないことが明らかになった。今後は実際の日本語学習者における二字漢語の習得に、誤用がどのように現れるのか。また現れ方の違いを実証研究を通して検証していきたい。

注

- (1) 外国人に対する日本語教育において初級・中級の漢語を「S」(共通する)、「O」(意味が一部重なる)、「D」(意味が異なる)、「N」(中国に存在しない)の4種類に分類した。分類の結果は「S」は全体の2/3に及び、「N」は1/4を占める。「O」と「D」は1/10にも達しない。
- (2) 本稿は漢語に限らず漢字二字で構成される全ての二字漢字語彙を取り上げる。
- (3) 中国と日本の代表的な国語辞典から表記が共通する語彙1万1千語を抜き出し、文化庁(1978)の分類を採用し、分類した。
- (4) 本稿の日本語訳は『中日大辞典』よりの辞書的意味は『中日』より、その他は筆者による。

参考文献

- (1) 荒川清秀(1979)「中国語と漢語—文化庁『中国語と対応する漢語』の評を兼ねて」『愛知大学文学論叢』62号1-28
- (2) _____(1988)「複合漢語の日中比較」『日本語学』5月号 56-67
- (3) 金若静(1987)『同じ漢字でも これだけ違う日本語と中国語』
- (4) 黄正浩(1994)「漢字語彙の日中朝対照研究」『講座日本語教育』29 334-358
- (5) 国際交流基金(1994)『日本語能力試験出題基準』凡人社

- (6) 国立国語研究所 (1982) 『日本語教育基本語彙七種比較対照表』 大蔵省印刷局
- (7) 国立国語研究所 (1984) 『日本語教育のための基本語彙』 秀英出版
- (8) 国立国語研究所 (1985) 『語彙の研究と教育』 上下 大蔵省印刷局
- (9) 武部良明 (1979) 「漢字国民に対する中級漢字教育」 『日本語教育』 37 13 - 23
- (10) 張淑栄 (1987) 『中日対比辞典』 ゆまに書房
- (11) 菱沼透 (1980) 「中国語と日本語の言語干渉 - 中国人学習者の誤用例 - 」 『日本語教育』 42 58 - 72
- (12) 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語』 大蔵省印刷局
- (13) 彭飛 (1998) 「日本語と中国語の対照研究が抱える諸問題をめぐって(1)」 『無差』 27 - 44
- (14) 守屋宏則 (1979) 「資料-日中同形語-その意味用法の差違-」 『日本語学校論集』 6 159-168
- (15) 三喜田光次 (2000) 『ここが違う日本語語彙と中国語語彙』 天理大学出版社
- (16) Yokosawa, K., & Umeda, M. (1988) Process in human kanji-word recognition Proceedings of the 1988 IEEE international conference on systems, man, and cybernetics:377- 380
- (17) 林玉恵 (2002) 「字形の誤用からみた日中同形語の干渉及びその対策 - 台湾人日本語学習者を中心に - 」 『日本語教育』 112 45 - 54

(お茶の水女子大学大学院)

Do Japanese kanji compound words and Chinese words
share the same meaning ?

—Drawing a comparison between in Mandarin of Taiwan and China—

CHEN Yumin

Chinese can be divided into Mandarin of China which of uses simplified Chinese characters and Mandarin of Taiwan , Hong Kong , Southeast Asia, Which of uses traditional Chinese characters . The characters are different and the meaning may also be different. When we refer to the transference by native Chinese speakers learning kanji and kanji compound words , we need to clarify the meaning in the particular Chinese first.

This study will compare the meanings of compound words in Japanese kanji to those meanings in both simplified and traditional Mandarin . The emerging results should state specific examples found in dictionaries from Japan, Taiwan and China that demonstrate the similarities and differences of transference in the Mandarin of Taiwan and China.

(Graduate school, Ochanomizu University)